

# 「災害に強い街」 玩具で組み立て

## 水戸、親子で学ぶ催し

震災から5年を迎えたのに合わせ、水戸市にある学習塾「弘道学館」などが20日、塾でも導入している組み立て玩具「レゴブロック」を使い、親子で防災について考えるイベントを水戸市の「みと文化交流プラザ」で開いた。2歳から高校生までの子どもたちと保護者ら約250人が参加した。

災害に強い街づくりをテーマに子どもたちが必要と考える建物や乗り物をつくらったり、ロボットを動かす

プログラミングを考えたりするブースが設けられた。水戸市の小学2年、生方悠太郎君は、災害時に多くの人が避難できるようにと、ブロックを組み合わせ

てロケットやトレーラーハウスをつくった。「おもしなかった。ロケットは、逃げ遅れた人がいないか空から捜すこともできる」と話していた。



「災害に強い街づくり」をテーマにブロックを組み立てる親子＝水戸市五軒町1丁目